

令和6年度第5回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和6年9月11日 13時00分～14時13分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
三上学生支援本部長、猪股企画本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、
Tee総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、田中宮古短期大学部長、
宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）、
永富委員（学外委員：東北大学産学連携機構特任教授）

[オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、加藤教育支援室長、松崎学生支援室長、
藤村研究・地域連携室長、佐藤企画室長、土澤宮古事務局長

[事務局]

高橋総務財務課長、森主幹、伊藤主任主査、

4 会議の概要

議事録確認

前回会議7月10日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

なし

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

(1) オハイオ大学、中部大学及び本庄国際奨学財団との復興防災学習プログラムの実施報告について

高橋高等教育推進センター長から、資料に基づき説明があった。

(2) 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」の認定結果について

高橋高等教育推進センター長から、資料に基づき説明があった。

(3) オーブダ大学との国際交流協定の失効について

高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

- (4) **令和7年度サバティカル研修者選考委員会結果について**
高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
- (5) **令和6年度合同企業等説明会の実施について**
三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。各説明会の四大生の対象学年について、従来から実施している説明会は採用活動につながるものとして3年生を、新たに実施するセミナーは企業を知るイベントとして1～3年生を対象としているとの補足説明があった。
- (6) **「岩手県立大学における多様な性のあり方を尊重するためのガイドライン」(原案)にかかるとの意見照会について**
三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。
委員から、今回作成するガイドラインは基本理念を定めるものとされているが、その先の取組として、当事者の困りごとに対応するためのより具体的な事項を定める必要があること、他大学では性自認に合わせた通称使用や、各種書類の性別記載欄の削除などに対応しているが、学内で丁寧に説明しながら検討を進めていくとよいとの発言があった。
- (7) **県央保健所との協働による自殺予防対策啓発イベント等の実施について**
三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。
- (8) **岩手県立大学企業学群講演会の開催結果について**
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
- (9) **岩手県立大学データサイエンス・リカレント講座「地域DX推進セミナー」の開催結果について**
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
- (10) **研究者情報システムの入力・更新について(依頼)**
亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
- (11) **Microsoft365の全教職員利用の開始について**
猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。
委員から、今回のアカウントが配付される前から既に個人アカウントを所持している場合に、アカウントの切替がスムーズにできない問題が生じる場合があるため、対応方法を周知したほうがよいとの発言があった。
- (12) **令和6年度オープンキャンパスの開催結果について**
滝沢キャンパスの開催結果については猪股企画本部長から、宮古キャンパスの開催結果については田中宮古短期大学部長から資料に基づき説明があった。
学長から、宮古キャンパスのオープンキャンパスで行った「学長と話そう！」のコーナーは、事前に質問を受け付けると質問数が多くなり、時間内に全ての質問に回答できないため、その場で出された質問に回答するほうがよいとの発言があった。

委員から、大学院への入学希望者向けのイベント開催について質問があり、猪股企画本部長から、現行のオープンキャンパスは高校生等を対象としたものであり、大学院については研究科ごとに説明会を開催しているとの回答があった。これに対し、委員から、研究科の志願者確保に向け、学部から研究科へのつながりを紹介できる機会を作れるとよいとの発言があった。

(13) 令和6年度ダイバーシティ推進研修会の開催について

米内事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

(14) 令和6年10月以降の学科長予定者について（机上配付）

高橋副学長から、資料に基づき説明があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和6年度全学FD・SDプログラム第1回高等教育セミナー開催結果について
- (2) 令和7年度編入学試験（看護・社福・総政）出願状況について
- (3) 大学院入学者選抜（社会福祉学研究科学内推薦及びソフトウェア情報学研究科第1次募集等）選抜結果について
- (4) 大学院入学者選抜（看護学研究科、社会福祉学研究科、総合政策研究科第1次募集）出願状況について
- (5) いわて高校生学び応援プロジェクト「探究活動・課題研究コンクール」結果について
- (6) 令和6年度秋季入学式実施要領
- (7) 令和6年度秋季学位記授与式実施概要
- (8) 令和6年度第1回学務調整会議の開催概要について
- (9) 令和6年度前期「English Time」の開催結果について
- (10) 令和6年度前期「数学学習相談室」実施報告について
- (11) 令和6年度第1回学生支援委員会の開催結果について
- (12) 令和6年度高度技術者養成講習会の開催について
- (13) 令和6年度数理・データサイエンス・AI塾の開催について
- (14) 令和6年度地区講座 滝沢市睦大学との連携講座の開催について
- (15) 国の修学支援新制度に係る機関要件の更新確認結果について
- (16) 令和6年度滝沢キャンパス防災訓練の実施について
- (17) 令和6年度 宮古短期大学部自衛消防訓練の実施について

(1)について

委員から、教学マネジメントの確立に向けて、国は様々な政策を展開しており、教学IRもその一つとして重要性が高まっているが、なじみにくい分野でもあることから、FDSD活動により学内に浸透させる必要があること、今回のセミナーに対する参加者の評価は高いことから、参加率向上に向けた取組が必要であるとの発言があった。

これに対し、高橋副学長から、本学では年2回の「FDSDの日」を設けて全員参加を原則としており、コロナ禍以前は参加率が高かったが、コロナ禍にリアルタイムオンライン受講やオンデマンド受講を認めたことから、FDSDの日が形骸化してしまったこと、11月末に2回目のFDSDの日があるため、改めて各部局におい

て所属する教職員へ参加を促してほしいとの発言があった。

委員から、セミナーへの意見として挙げられている「自主的に自分の学力を向上させるようにサポートすることが大学としての本筋」ということについて、授業アンケートの結果などを活用しながら、学生と教員と一緒に検討できるとよいとの発言があった。

(16)について

委員から、事前に行われる説明会の対象者について質問があり、米内事務局次長兼総務室長から、各自衛消防隊において役割を担っている教職員が対象であるとの回答があった。

委員から、様々な災害に臨機応変に対応できるような実践的な防災訓練を検討してほしいとの発言があり、米内事務局次長兼総務室長から、全学生・教職員等を対象とする防災訓練はコロナ禍以降行われていないことから、今回は基本的な動きを身に付ける機会としてコロナ禍前と同様の内容で実施すること、実践的な訓練は今後検討していくとの発言があった。

委員から、火山噴火を想定した防災訓練として、ハザードマップの確認なども有効であるとの発言があった。

その他

なし